

但馬の経済指標

令和7年7月～9月

兵庫県但馬県民局

【但馬の経済概況】

<ポイント>

①但馬信用金庫の但馬管内景気動向調査によると、業況判断DIは、前四半期より3.1ポイント改善し、-12.8となった。

②有効求人倍率は、9月期1.40倍。前年同月と比べて0.14ポイント減少した。

		項目	今期(7月～9月)	対前期(増減)	対前年同期(増減)
1	業況判断DI (全業種計)	但馬信用金庫	△ 12.8	+ 3.1	△ 6.7
2	雇用	有効求人倍率	9月 1.40	対前月(増減) △ 0.01	対前年同月(増減) △ 0.14
		9月		前月比(%)	前年同月比(%)
		有効求人数(人)	3,435	△ 2.11	△ 14.53
		有効求職者数(人)	2,459	△ 1.13	△ 5.57
		雇用保険受給者実人員(人)	531	△ 1.85	+ 0.57
3	金融	普通貸付残高(百万円)	9月 10,970	前月比(%) △ 0.73	前年同月比(%) △ 8.30
		9月		前月比(%)	前年同月比(%)
		信用保証承諾額(百万円)	1,184	+ 75.67	+ 105.56
		信用保証債務残高(百万円)	50,736	△ 0.28	△ 7.54
4	公共工事	公共工事請負金額(百万円)	9月 3,994	前月比(%) + 67.96	前年同月比(%) △ 17.85
参考	企業倒産(全県)	件数	今期(7～9月) 133	対前期(増減) △ 48	対前年同期(増減) + 8
		負債総額(百万円)	9,631	△ 4,485	+ 2,271
5	地場産業	豊岡かばん		売上高、生産量、収益とも やや少ない。	売上高、生産量、収益とも やや少ない。

1 業況判断

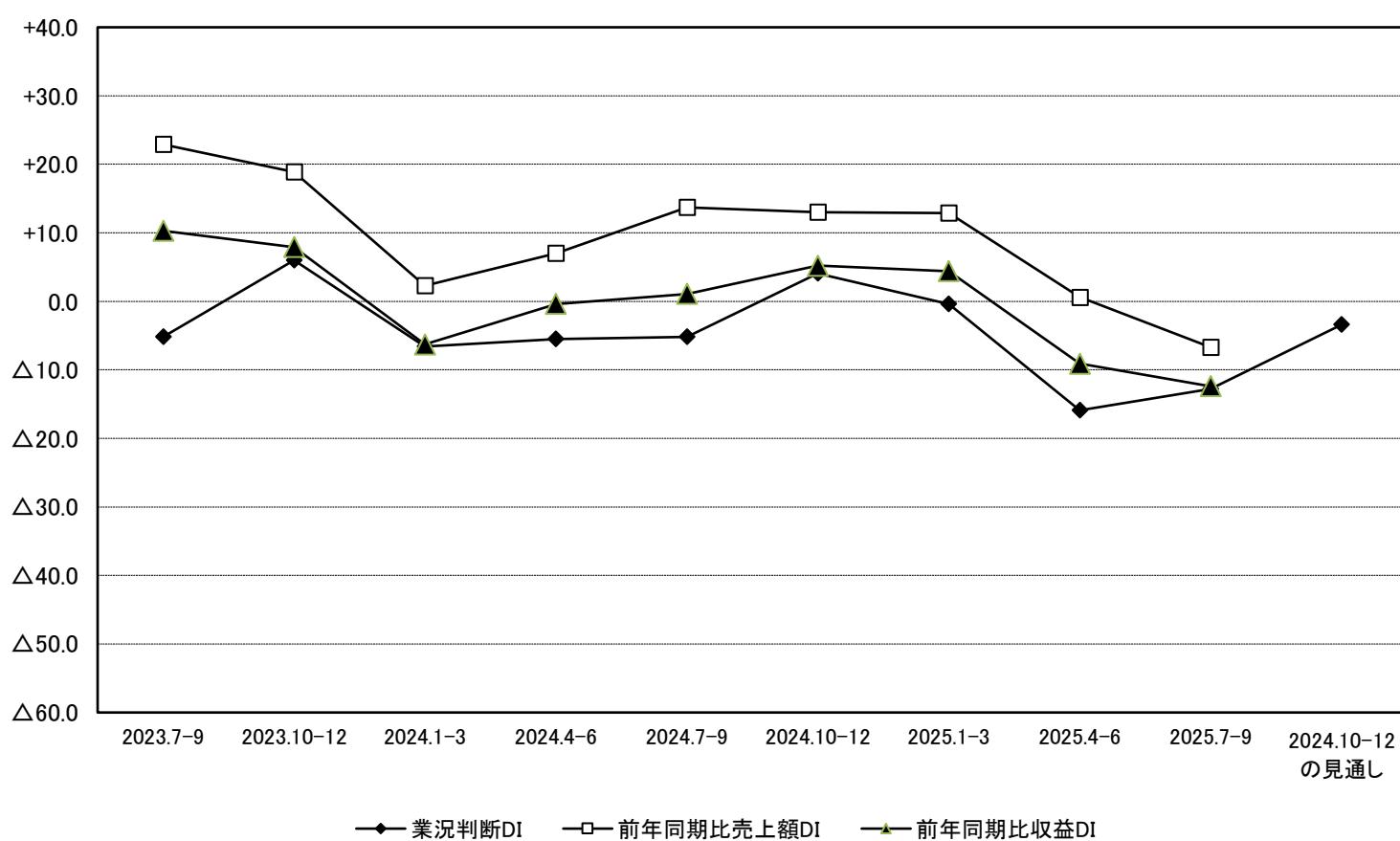
但馬信用金庫

今期の業況判断DIは、前四半期より3.1ポイント改善し、-12.8となった。

来期の見通しについては、業況判断DIが-3.4となる見通しである。

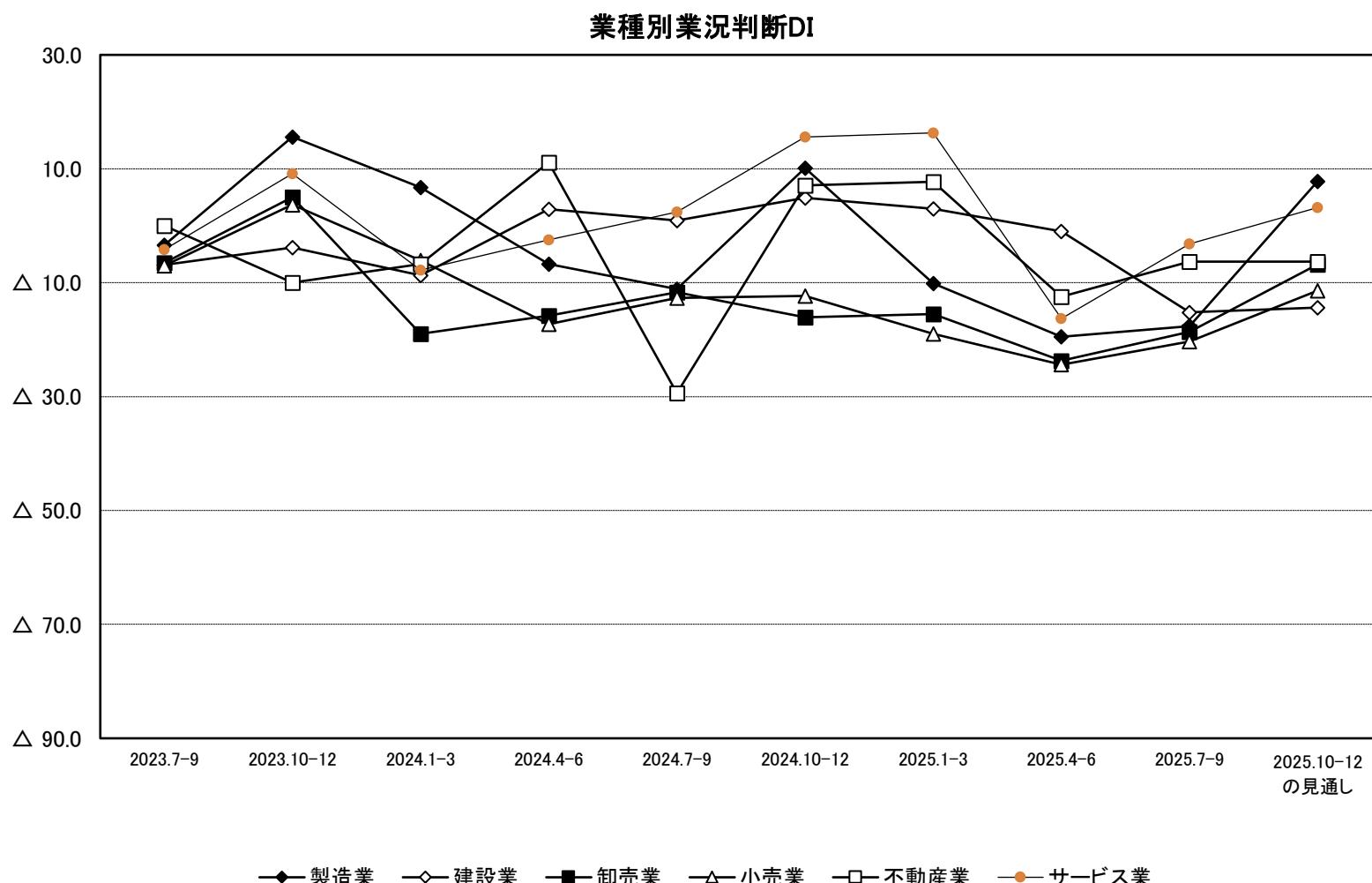
前年同期と比較した売上額DIは-6.7、同収益DIは-12.4となった。

業況判断DIの推移



	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2024.10-12の見通し
業況判断DI	△5.2	+6.0	△6.6	△5.5	△5.2	+4.1	△0.4	△15.9	△12.8	△3.4
前年同期比売上額DI	+22.9	+18.9	+2.3	+7.0	+13.7	+13.0	+12.9	+0.6	△6.7	-
前年同期比収益DI	+10.3	+7.9	△6.3	△0.4	+1.1	+5.2	+4.4	△9.1	△12.4	-

出典:但馬信用金庫『但馬管内景気動向調査』

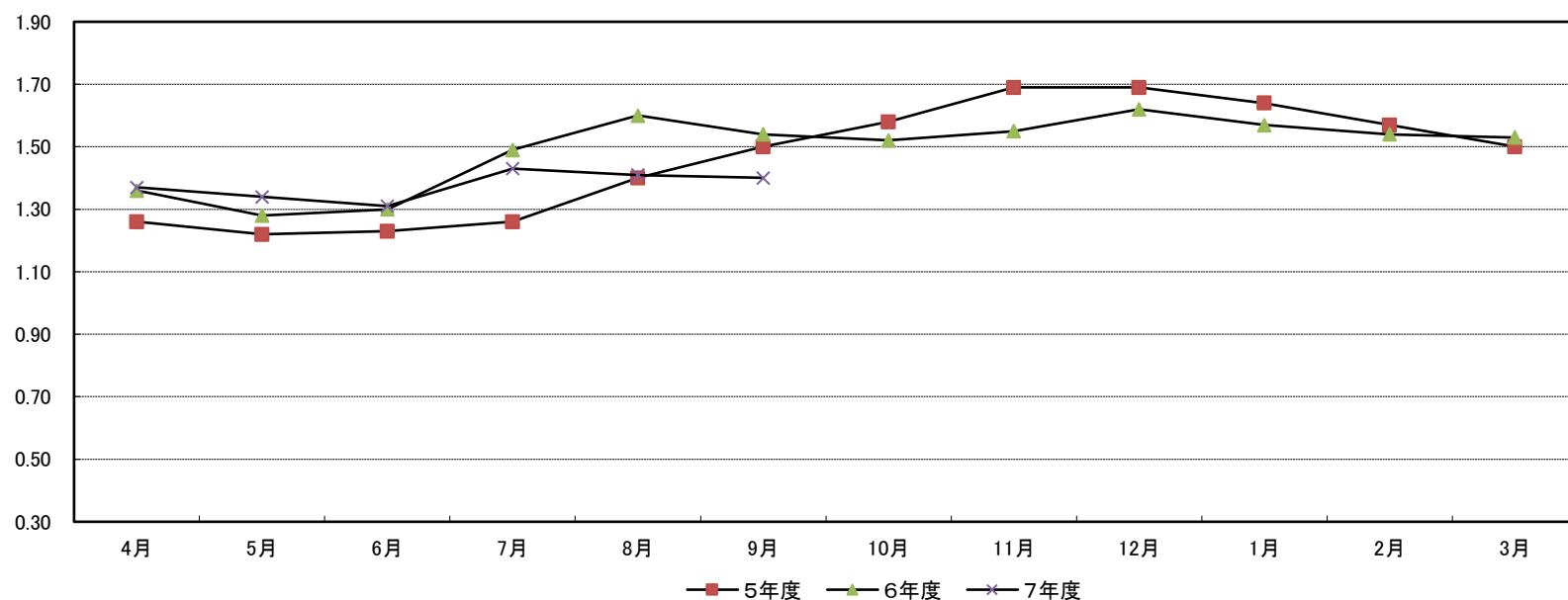


	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12 の見通し
製造業	△ 3.4	15.6	6.7	△ 6.7	△ 11.1	10.1	△ 10.1	△ 19.5	△ 17.6	7.8
建設業	△ 6.9	△ 3.8	△ 8.7	2.9	0.9	4.9	3.0	△ 1.0	△ 15.2	△ 14.4
卸売業	△ 6.5	5.0	△ 19.0	△ 15.8	△ 11.7	△ 16.1	△ 15.5	△ 23.7	△ 18.6	△ 6.8
小売業	△ 7.0	3.7	△ 6.1	△ 17.3	△ 12.7	△ 12.3	△ 19.0	△ 24.4	△ 20.3	△ 11.4
不動産業	0.0	△ 10.0	△ 6.7	11.1	△ 29.4	7.1	7.7	△ 12.5	△ 6.3	△ 6.3
サービス業	△ 4.2	9.1	△ 7.8	△ 2.5	2.4	15.6	16.3	△ 16.3	△ 3.2	3.2

出典:但馬信用金庫『但馬管内景気動向調査』

2 雇用

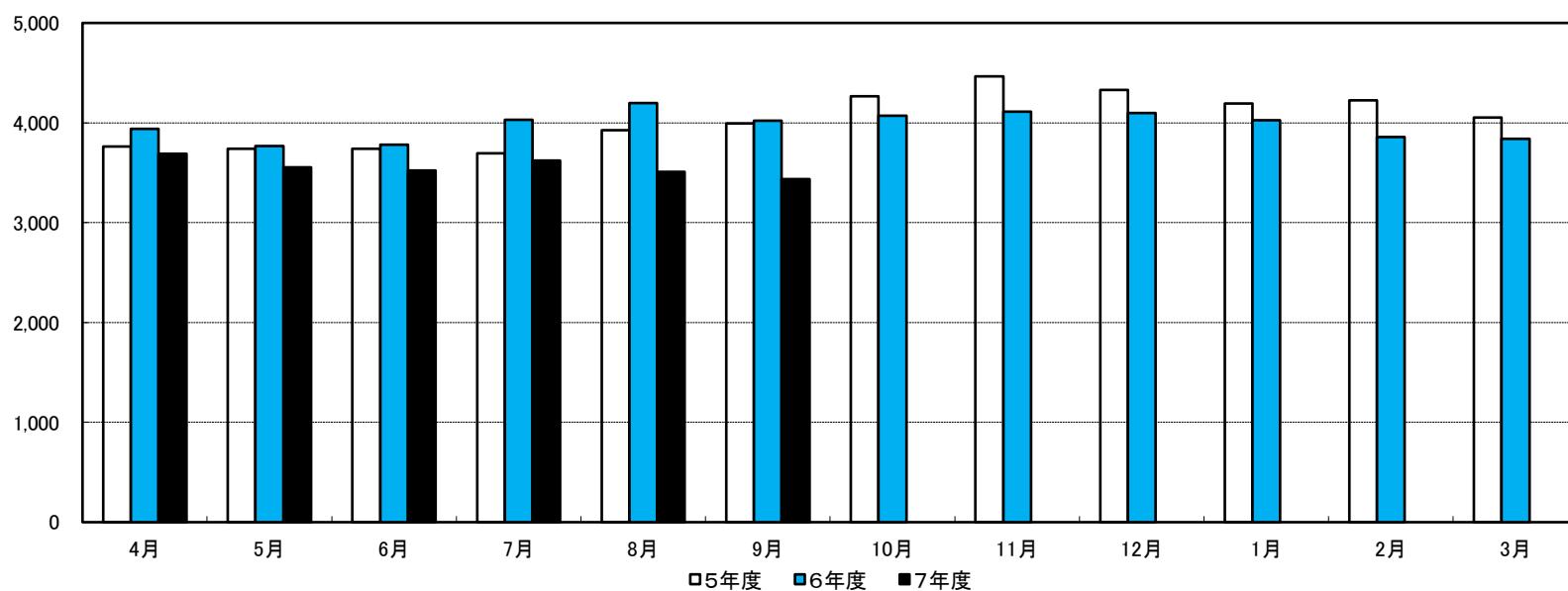
有効求人倍率



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
5年度	1.26	1.22	1.23	1.26	1.40	1.50	1.58	1.69	1.69	1.64	1.57	1.50	1.46
6年度	1.36	1.28	1.30	1.49	1.60	1.54	1.52	1.55	1.62	1.57	1.54	1.53	1.49
7年度	1.37	1.34	1.31	1.43	1.41	1.40							1.38
対前月 (増減)	-0.16	△0.03	△0.03	+0.12	△0.02	△0.01							—
対前年 (増減)	+0.01	+0.06	+0.01	△0.06	△0.19	△0.14							—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

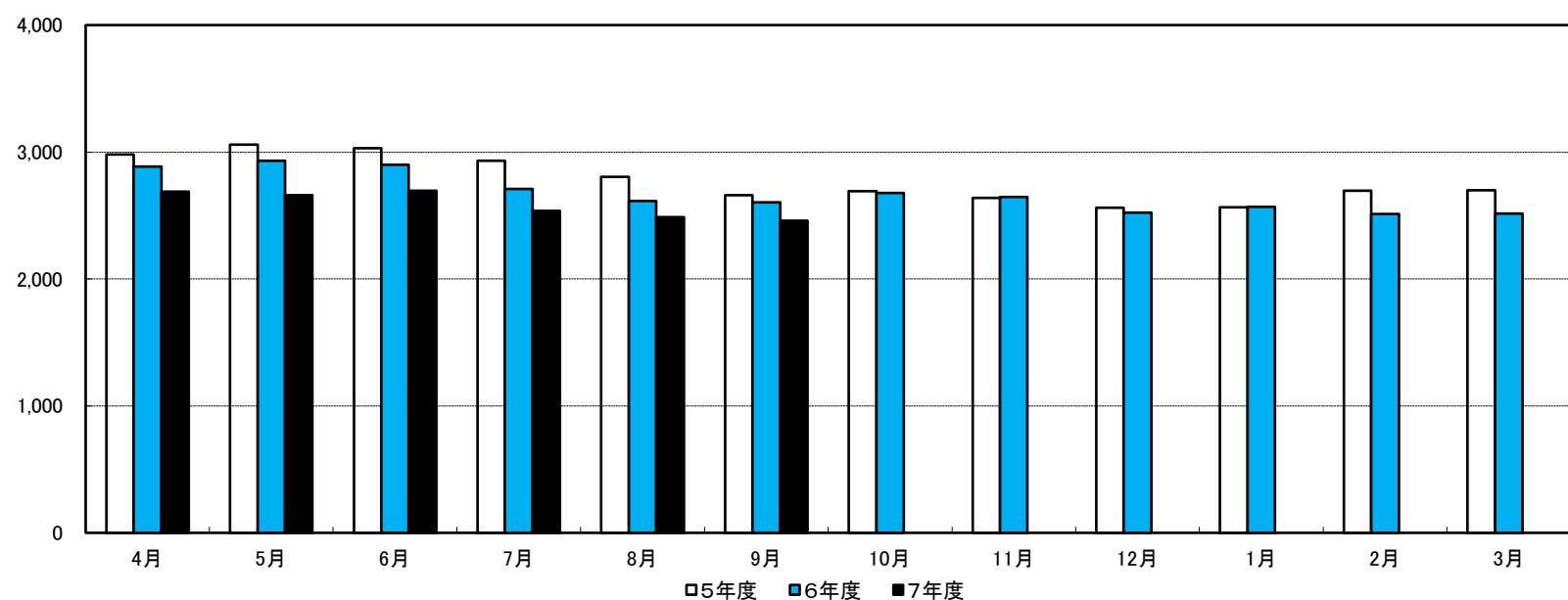
有効求人数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
5年度	3,763	3,740	3,739	3,693	3,924	3,992	4,265	4,465	4,331	4,193	4,223	4,053	4,032
6年度	3,939	3,765	3,779	4,030	4,197	4,019	4,073	4,113	4,096	4,026	3,856	3,839	3,978
7年度	3,692	3,553	3,522	3,622	3,509	3,435							3,556
前月比 (%)	△3.83	△3.76	△0.87	+2.84	△3.12	△2.11							—
前年同月 比(%)	△6.27	△5.63	△6.80	△10.12	△16.39	△14.53							—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

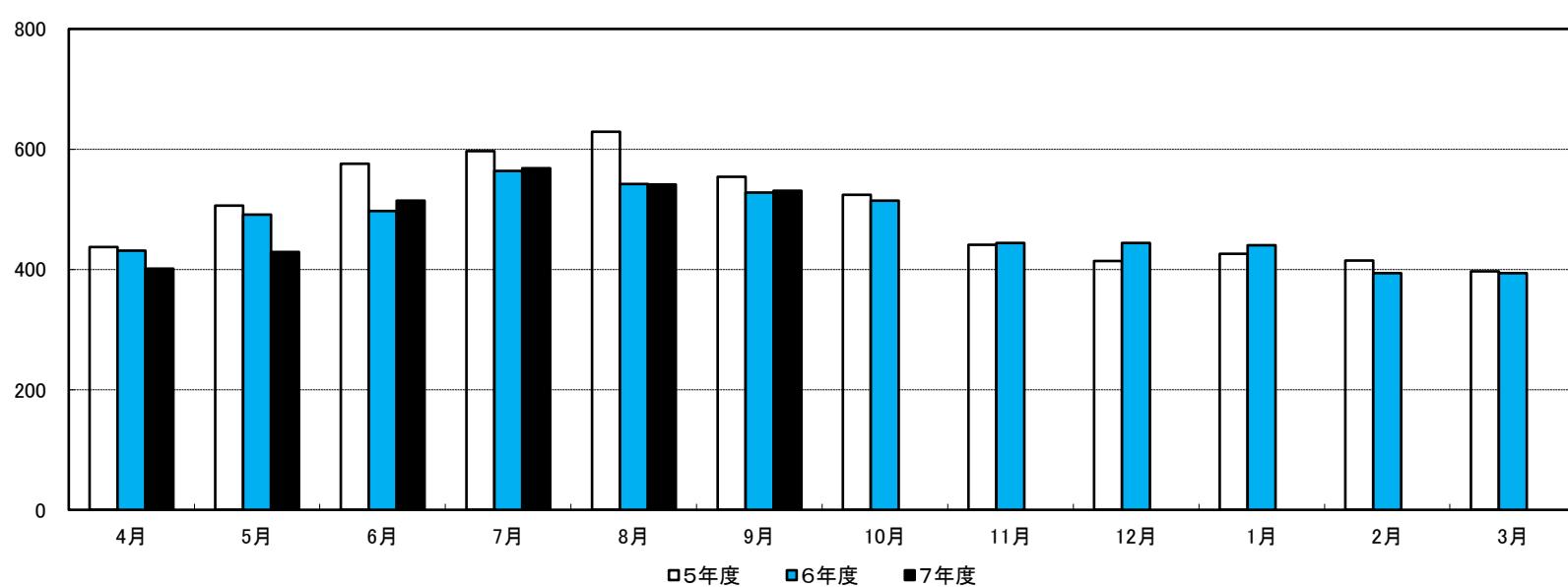
有効求職者数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
5年度	2,981	3,058	3,030	2,930	2,804	2,659	2,691	2,640	2,562	2,564	2,695	2,700	2,776
6年度	2,887	2,931	2,900	2,708	2,615	2,604	2,677	2,647	2,523	2,567	2,512	2,516	2,674
7年度	2,690	2,660	2,696	2,538	2,487	2,459							2,588
前月比(%)	+6.92	△1.12	+1.35	△5.86	△2.01	△1.13							—
前年同月比(%)	△6.82	△9.25	△7.03	△6.28	△4.89	△5.57							—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

雇用保険受給者実人員(人)

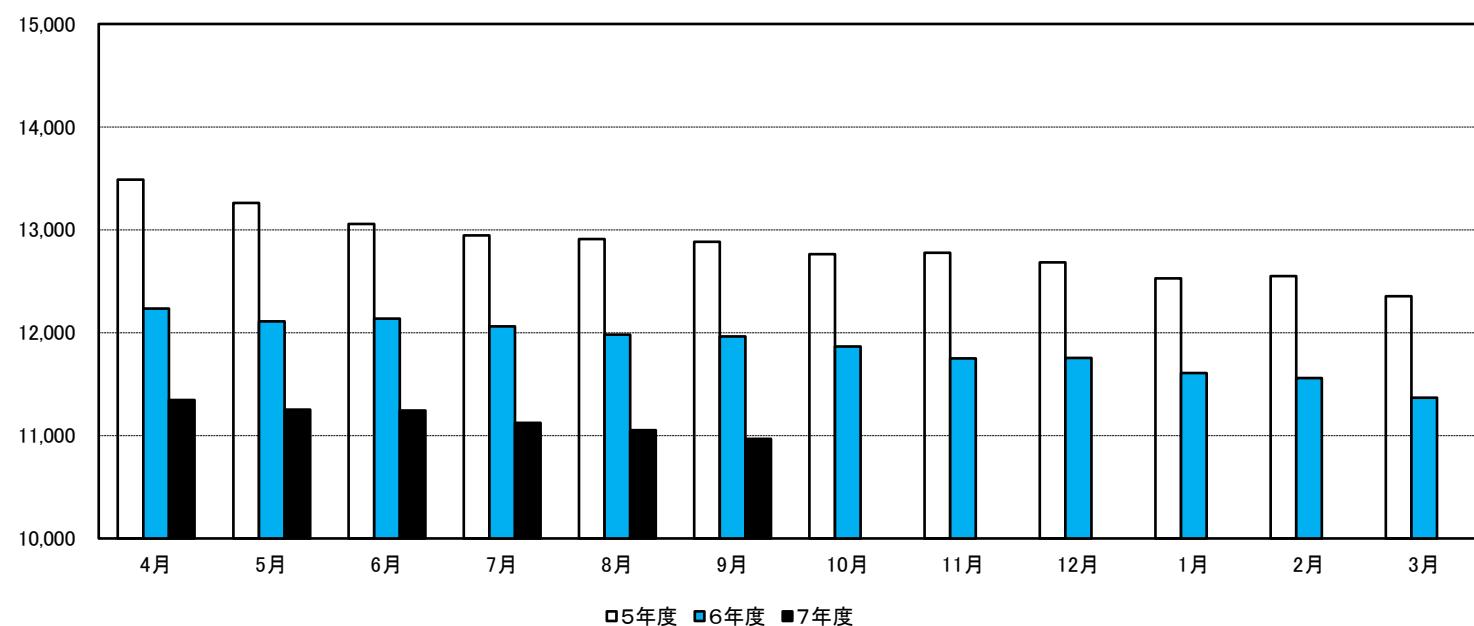


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
5年度	437	506	576	597	629	554	524	441	414	426	415	397	493
6年度	431	491	497	564	542	528	514	444	444	440	394	394	474
7年度	401	429	514	568	541	531							497
前月比(%)	+1.78	+6.98	+19.81	+10.51	△4.75	△1.85							—
前年同月比(%)	△6.96	△12.63	+3.42	+0.71	△0.18	+0.57							—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

3 金融

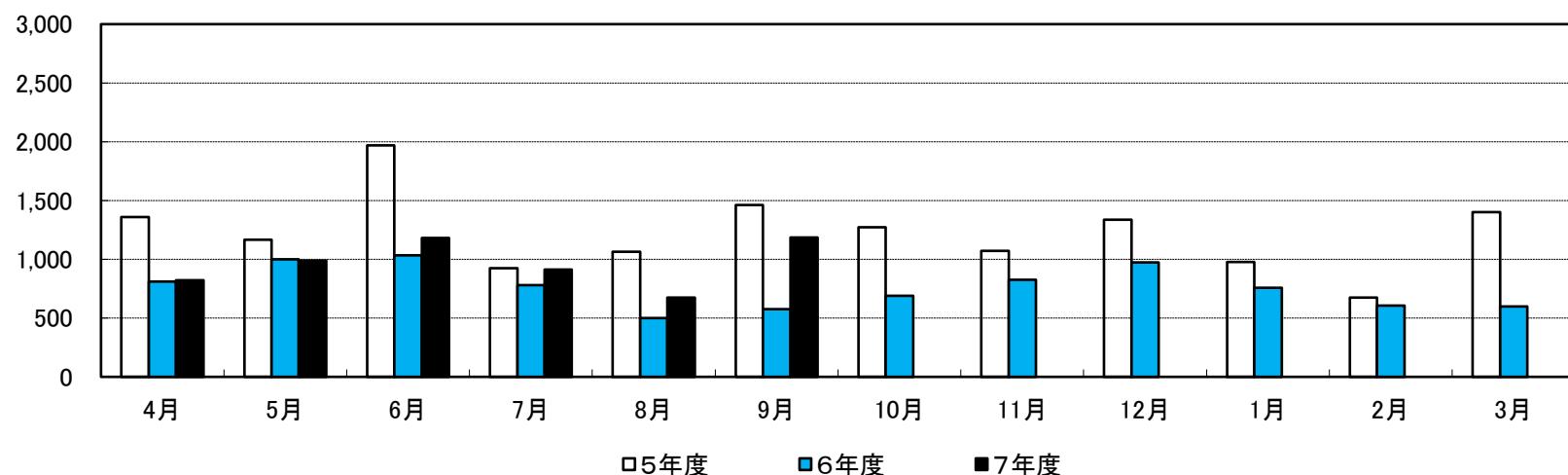
普通貸付残高(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
5年度	13,489	13,261	13,057	12,947	12,911	12,884	12,761	12,776	12,682	12,528	12,550	12,352	12,850
6年度	12,234	12,110	12,136	12,060	11,982	11,963	11,867	11,750	11,756	11,608	11,558	11,366	11,866
7年度	11,345	11,251	11,242	11,124	11,051	10,970							11,164
前月比 (%)	△0.18	△0.83	△0.08	△1.05	△0.66	△0.73							—
前年同月 比(%)	△7.27	△7.09	△7.37	△7.76	△7.77	△8.30							—

日本政策金融公庫豊岡支店 集計

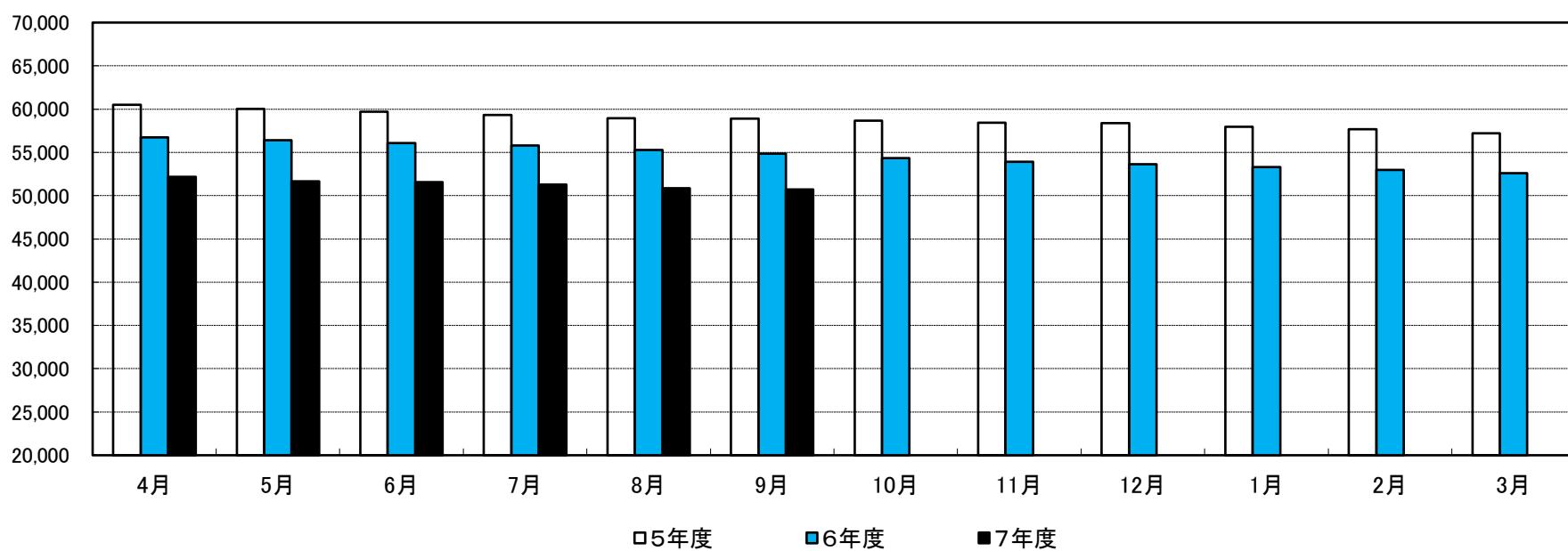
信用保証承諾額(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
5年度	1,361	1,166	1,968	926	1,065	1,462	1,273	1,070	1,336	979	675	1,403	1,224
6年度	810	998	1,033	780	501	576	690	825	975	756	606	598	762
7年度	823	989	1,182	913	674	1,184							961
前月比(%)	+37.63	20.17	+19.51	△22.76	△26.18	+75.67							—
前年同月比(%)	+1.6	△0.9	+14.42	+17.05	+34.53	+105.56							—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

信用保証債務残高(百万円)

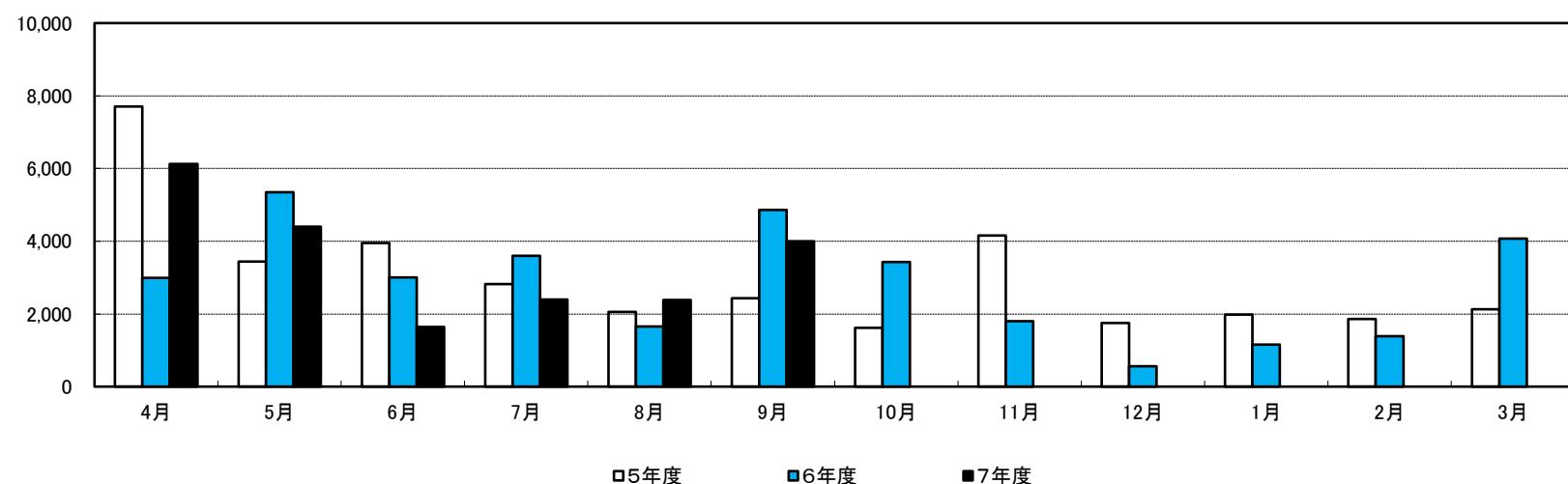


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
5年度	60,486	60,043	59,702	59,339	58,933	58,912	58,651	58,420	58,365	57,976	57,659	57,190	58,806
6年度	56,758	56,401	56,055	55,783	55,257	54,875	54,341	53,897	53,624	53,308	52,996	52,579	54,656
7年度	52,166	51,668	51,555	51,300	50,881	50,736							51,384
前月比(%)	△ 0.79	△0.95	△0.22	△0.49	△0.82	△0.28							—
前年同月比(%)	△ 8.09	△8.39	△ 8.03	△ 8.04	△ 7.92	△ 7.54							—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

4 公共工事

公共工事請負金額(百万円)

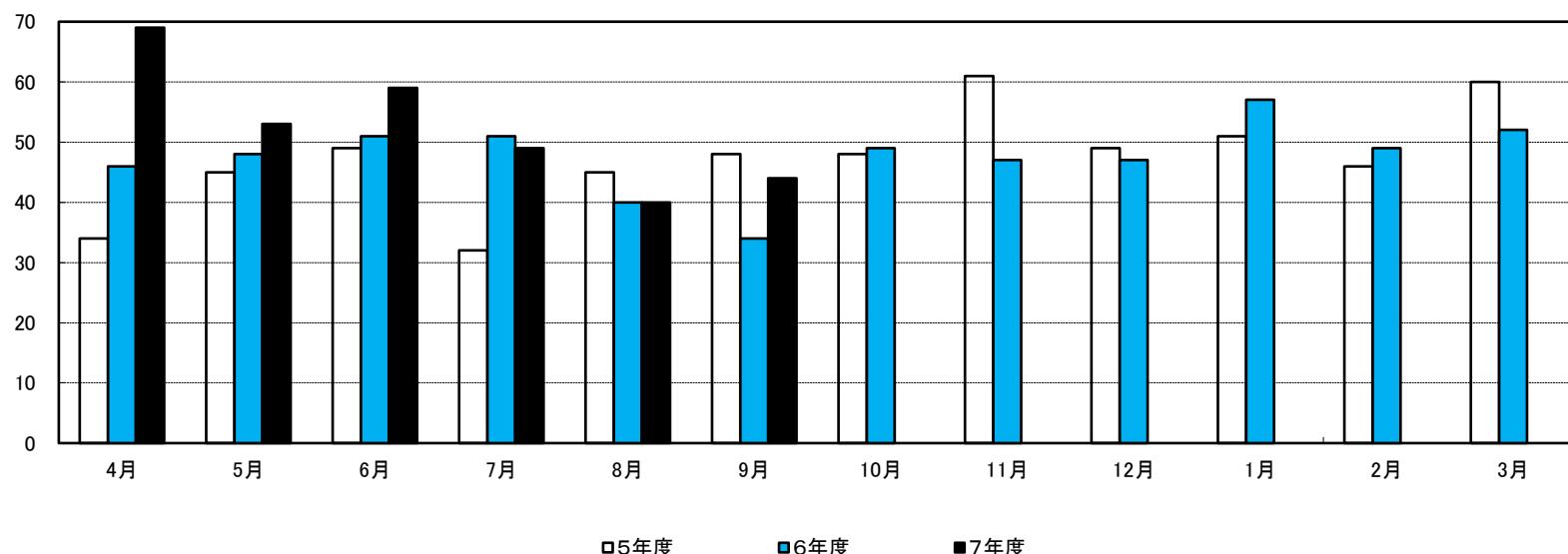


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
5年度	7,702	3,442	3,954	2,824	2,058	2,429	1,619	4,152	1,751	1,978	1,866	2,123	2,992
6年度	2,995	5,343	3,007	3,592	1,656	4,862	3,430	1,794	556	1,156	1,381	4,074	2,821
7年度	6,124	4,405	1,644	2,389	2,378	3,994							3,489
前月比 (%)	+50.32	△28.07	△62.68	+45.32	△0.46	+67.96							—
前年同月 比(%)	+104.47	△17.56	△45.33	△33.49	+43.6	△17.85							—

西日本建設業保証株式会社兵庫支店 集計

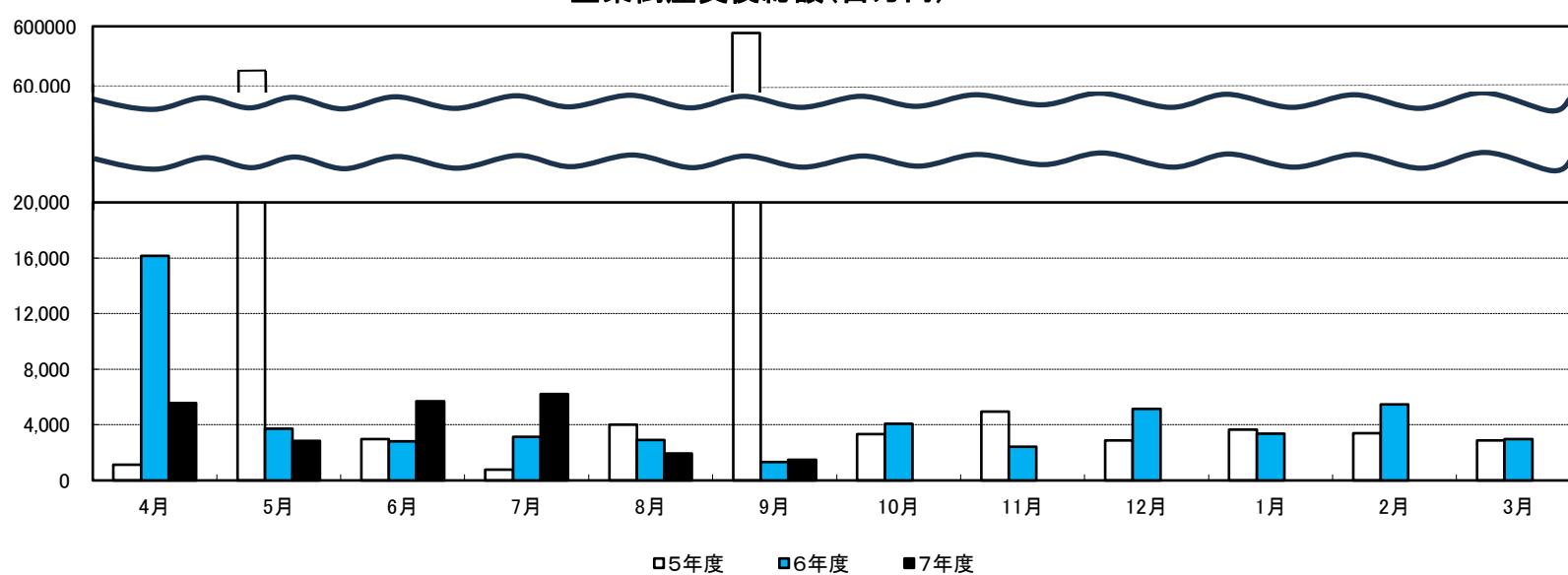
【参考】企業倒産(全県)

企業倒産件数(件)



出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支社

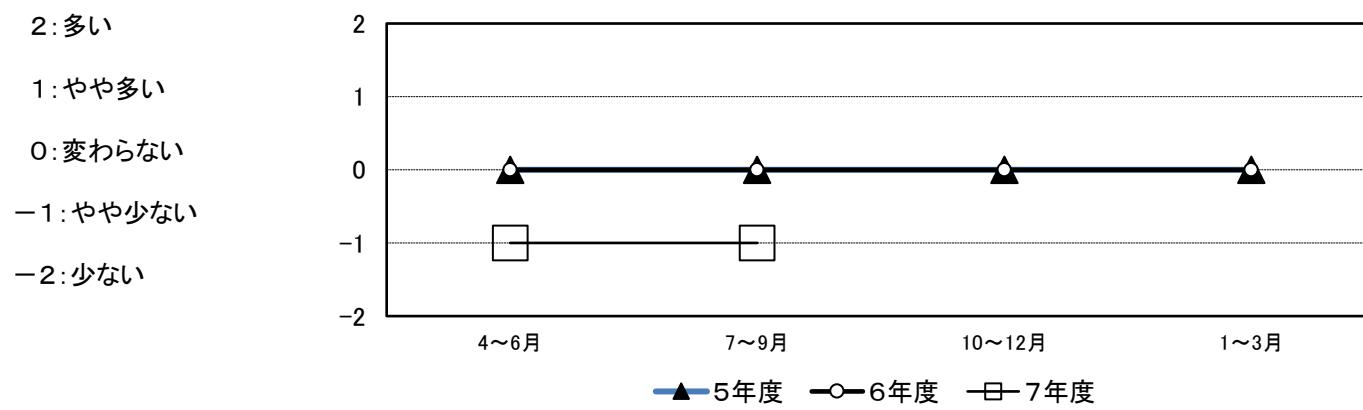
企業倒産負債総額(百万円)



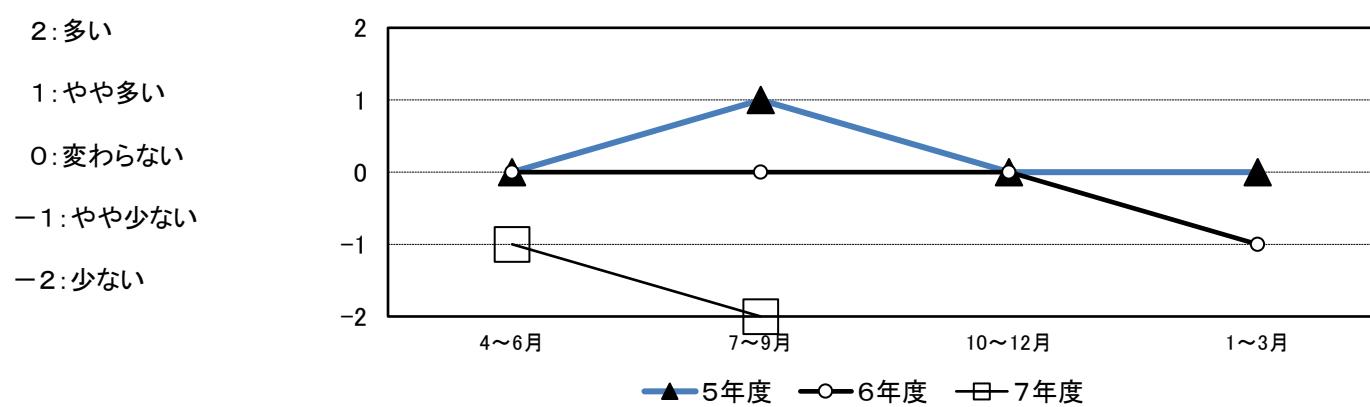
出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支社

5 地場産業(豊岡かばん)

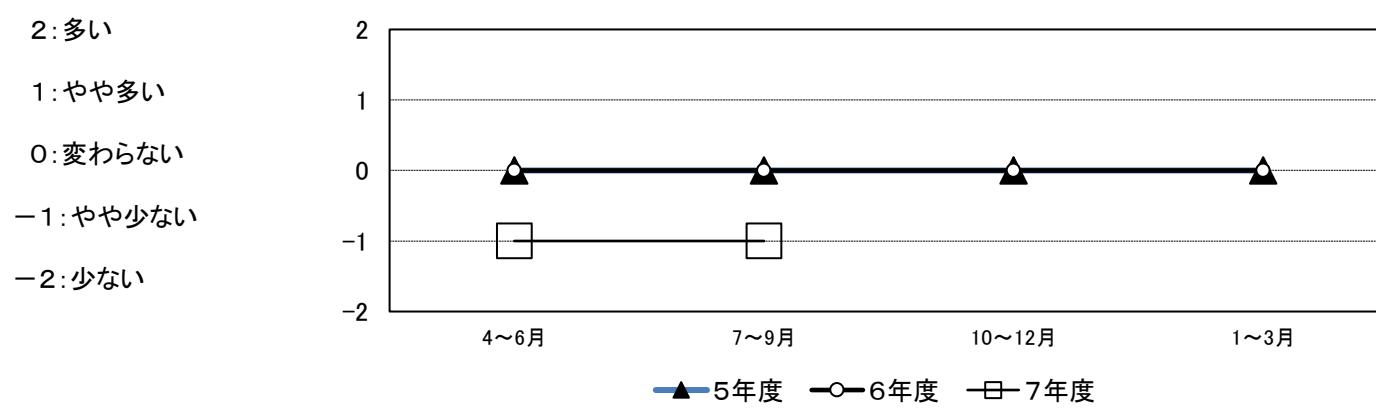
豊岡かばん 売上高 (前期比)



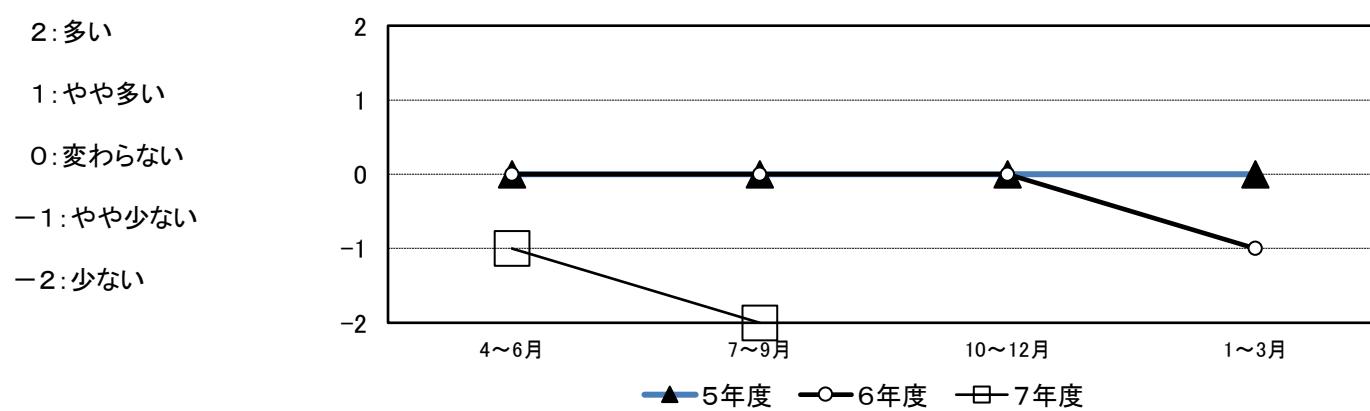
豊岡かばん 売上高 (前年同期比)



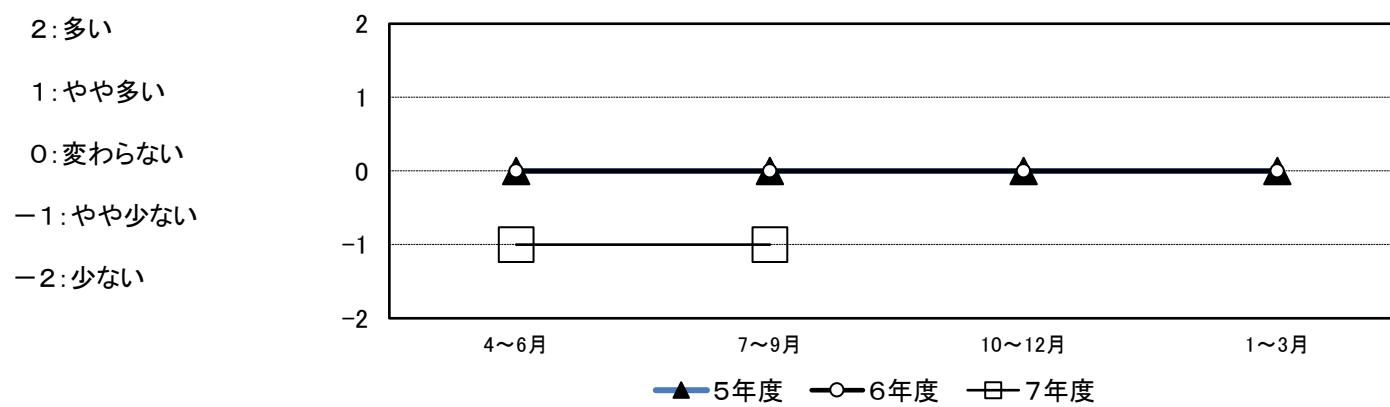
豊岡かばん 生産量 (前期比)



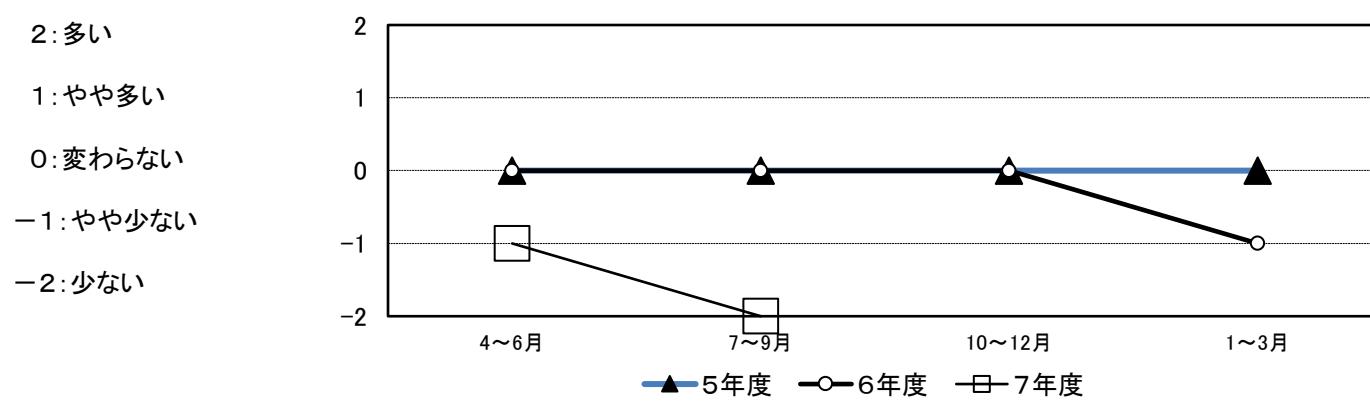
豊岡かばん 生産量 (前年同期比)



豊岡かばん 収益（前期比）



豊岡かばん 収益（前年同期比）



前期(令和7年4~6月)と比べて売上高、生産量、収益ともやや少ない

前年同期(令和6年7~9月)との比較では、売上高、生産量、収益とも少ない

昨年から続いている全体的な物価高、特にコメの販売価格の高騰をはじめ、生活必需品の高騰により、鞄の消費購買力が落ち込み、7~9月ではさらに不調傾向である。

鞄製造については、一般OEMの発注量が減少し、地域ブランド「豊岡鞄」の割合を増やし、経営収益の高い分野へ変更する企業も増えている。OEMに頼っている企業はOEM先が販売価格を上げ、高級化を目指す一方で、発注量が減少しており、減収により厳しい経営状況の企業もある。

小規模企業では人手不足が続いている、従業員を雇わず家族経営に移行し、規模を縮小する企業も増えている。家族経営型の企業は、従業員を解雇し、家族経営化もしくは事業継承の道を検討している。

企業地域ブランド「豊岡鞄」も新規店舗を展開しているが、知名度のない関東、北陸では非常に厳しい状況である。広島、姫路、大阪などもやや落ち込んでおり、販売目標の60%~70%の売上である。特にKITTE大阪の直営店は落ち込みが顕著。東京ではインバウンド客が徐々に増えているが、万博での効果はほとんど見られない状況である。

豊岡鞄協会 回答

6 主要業種の概況

旅客運送業	景況感はさほど良くない。但馬発の大坂・関西万博ツアーが好調で、キャンセル待ちが発生するほどの人気となっている。 一方で、人員不足が続いている内勤業務の職員が運転士として業務を行うケースもある。また数年後には、運転士の年齢構成が、60歳以上と60歳以下でほぼ同数になる見込みとなっている。大学進学率の上昇に伴い、採用数も年々減少しているほか、以前はバスの納期が半年ほどであったが、半導体が調達困難なため、1年～1年半ほどに伸びている。
食料品製造業	景況感は悪い。漁獲量が少ないため、そもそも加工するための水産物がない状況。カニに関しては日本の購買力が低下しているため、中国等に買い負けしている。また国内ではこれまでカニシーズンは満遍なく売れていたが、現在はクリスマスからお正月の短期間に集中している。今年度はマグロが豊漁で、マグロがイカを餌にしているため、イカの漁獲量減少に拍車をかけている。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和7年7月)」より

銀行業	管内の製造業・サービス業は価格転嫁が難しく、景況感としてはさほど良くない。また全体として、事業再構築補助金や、ものづくり補助金などの終了に伴い、設備投資は減少傾向にある。 消費者向けの融資では今までのニーズが浸透した結果、有担保型の消費者向けローンが増加の傾向にある。本店近辺の店舗では、営業人員を配置せずに、本店による一元対応体制を構築することで、人手不足の対応を図っている。
金属製品 製造業	景況感は良い。AIによる電力・水等の必要量の把握により、ロスを減らし、より適切な管理を行うことができるようになった。給与についてもベースアップ、賞与も4.5か月分に上昇している。新規採用の状況は、充足率は100%となっており、採用数に不足はない。しかし、博士・修士卒はここ数年応募がない状況。また、京阪神で働きたい方へのニーズに合わせて昨年度、大阪府にサテライトオフィスを設営した。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和7年8月)」より

宿泊業	ヒアリング月の景況感は悪い。万博の影響もあり、5月以降の売り上げは減少し、地域全体として約10%～20%落ち込んでいる。万博終了後はカニ会席コースのスタートも重なり、予約状況は好調となっている。 外国人雇用に関しては、これまでベトナムと台湾から採用を行ってきたが、円安の影響もあり募集人数は減少傾向にある。 新設された橋の開通により、慢性的であった交通渋滞は大幅に改善された。また、利便性の向上や物流の効率化など多方面にわたり好影響が及んでいる。
一般土木 建築工事業	売上高・利益の見通しは昨年度や今年度4～6月と変化がなく、景況感はさほど良くない。セメントの原材料価格の上昇もあり、売上に影響はないが、収益には影響を及ぼしている。 雇用人員に関しては、建築現場の施工管理職が不足している。求人募集は行っているが、現在応募はほとんどない状況。大卒採用の2名のうちの1名は兵庫県外大学出身者であるが、出身地は兵庫県の方を採用している。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和7年9月)」より